

## 平成28年第1回江別市総合教育会議

1 日時 平成28年7月12日（火）午前10時00分～午前11時00分

2 場所 市長公室

3 出席者

（構成員） 江別市長 三好 昇  
江別市教育委員会  
教育長 月田 健二  
委員 支部 英孝  
委員 郷 早見  
委員 橋本 幸子  
委員 林 大輔

（事務局） 教育部長 渡部 丈司  
教育部次長 萬 直樹  
教育部学校教育支援室長 伊藤 忠信  
教育部総務課長 山崎 正樹  
教育部総務課総務係主査 酒井 和恵

4 議題

- （1）新教育委員会制度について
- （2）平成28年度教育施策及び予算の展開方針について
- （3）コミュニティ・スクールの導入について

会 議 録

渡部教育部長	<p>皆様おそろいになりましたので、ただいまから、平成28年第1回江別市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>初めに会議の主宰者であります市長からご挨拶をお願いいたします。</p>
三好市長	<p>皆様おはようございます。平成28年の第1回目の総合教育会議の開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げたいと思います。日頃から教育委員の皆様には、市が総合計画に基づき進めております教育の向上、充実に大変なご尽力を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>昨年は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正によりまして、当市におきましても総合教育会議が設置されました。会議は3回開催されたところでございます。</p> <p>その会議では、当市の教育大綱の計画・策定が協議され、当市の学校教育、社会教育の充実が描かれ、時代の変化に対応した教育施策を展開する教育大綱を策定されましたほか、当市の学習の状況、学校教育・社会教育の現状や課題、さらには、全国の学力・学習状況調査などについて、意見交換を行ったところでございます。</p> <p>本日は、教育委員の任期満了に伴いまして、新委員が就任されております。その他、議題にありますとおり、新教育委員会制度に基づく体制での初めての会議でございますので、自己紹介をいただいた上で、会議を進めてまいりたいと考えてございますので、よろしく願い申し上げます。</p> <p>いずれにしましても、私は教育行政と言いますのは、市が進めるまちづくりの非常に重要な位置付けになっていると思ってございまして、その下に政策を進めてまいりたいと思っております。そのためには、教育委員会の皆様とは常に意見交換を行い、情報を共有した上で、進めてまいりたいと考えてございますので、引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。</p>
渡部教育部長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、市長が申しあげましたとおり、今回、新体制で初めての会議となりますので、出席者の皆様から自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
月田教育長	<p>新教育委員会制度の教育長となりました月田です。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
橋本委員	<p>委員3年目になりました橋本でございます。よろしくお願い申し上げます。</p>
林委員	<p>6月30日から初めて委員に就任しました林大輔です。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
支部委員	<p>教育委員2年目になります。この新教育委員会制度に変わりましたから、教育長職務代理者として勤めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
郷委員	<p>2期7年目となります郷早見でございます。大変微力ですがけれども、これからの江別市の子どもたちのために頑張っていきたいと考えております。今年度もよろしくお願い申し上げます。</p>
渡部教育部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これ以降の進行につきましては、江別市総合教育会議設置要綱第4条に基づきまして、市長をお願いいたします。</p>
三好市長	<p>それでは、議事を進めてまいります。</p> <p>本日の議題は、次第にありますとおり、新教育委員会制度について及び平成28年度教育施策及び予算の展開方針について、さらにはコミュニティ・スクールの導入についてで</p>

<p>山崎総務課長</p>	<p>ございます。 次第に基づきまして、3つの議題を議論したいと思います。 まず（1）新教育委員会制度について、を議題といたします。 事務局から説明願います。</p> <p>おはようございます。私の方から新教育委員会制度について若干ご説明させていただきます。 市長からもご案内がありましたとおり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されてございます。 新教育長は、従来の教育長と教育委員長を一本化した新たなポストでございまして、当市の場合は、任期が6月30日から3年間ということになります。現教育長が平成28年6月29日をもって任期満了となり、翌30日から新制度に移行してございます。 現在、教育委員は本日ご参加いただいている4人となります。また、教育長の職務代理者には、教育委員の中から教育長が支部委員を指名しております。 以上でございます。</p>
<p>三好市長</p>	<p>それでは、新しく教育長に任命されました月田教育長から、新教育長としての抱負などについてお話をいただきたいと思います。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>皆さんこんにちは。 先の第2回江別市議会定例会におきまして、教育長の任命について御同意をいただき、6月30日に市長から辞令をいただきました。 新教育委員会制度における教育長は、旧制度の教育長の職責に加え、これまで教育委員長が担ってきた教育委員会を代表し、会議を主宰する職責を一身に引き受ける立場となっております。 また、教育委員への迅速な情報提供や緊急事態の際には会議招集の判断をしなければなりません。 このような責任の重たさを改めて痛感し、身の引き締まる思いではありますが、教育委員会制度改正の趣旨を十分に踏まえ、これから3年間という任期を、江別市の教育の充実・発展のため、誠心誠意取り組んでまいりたいと思います。 新制度になりましても、教育委員会は引き続き合議体の執行機関であり、教育に関する事務の管理及び執行権限が教育委員会にあることは、これまでと同様ですので、今後も教育委員会の意思決定に基づき、様々な教育課題について最善の方策を検討し、実践していきたいと考えております。 昨年度から開始しました、この江別市総合教育会議では、昨年8月、平成30年度までの教育行政のよりどころとなる江別市教育大綱が策定されました。 私は、この大綱の理念実現に向けて、市長のお考えをしっかりと聞きながら、力を尽くしてまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。 ここで、私の教育行政に対する基本的な考えを述べたいと思います。 江別市は、「教育のまち江別」、さらに「文化のまち江別」「スポーツのまち江別」と言われております。4つの大学、多くの教育関係機関、5つの高校があります。そこには、多くの人材がいっぱいいます。 さらに、文化協会、体育協会傘下の諸団体などからも多くの支援を得て、教育行政の取り組みを進めているところでありますが、今後さらに連携を強めて、江別市に与えられた名にふさわしい教育施策を推し進めたいと決意しております。 まず、公立小中学校の学校教育ですが、江別市学校教育基本計画に基づきその基本理念である「心豊かに学び、ともに未来のふるさとを拓く、子どもの育成」を目指し、「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな体」をバランスよく育てるとともに、ふるさとに対する「郷土愛」の育成に重点的に取り組みます。 その中でも一番大切に思っているのは、善き意思をもち、思慮深く、的確な決断力があり、情操に満ちあふれた豊かな人間性を備えた人の育成です。 そのような人の子ども像は、「夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて行動する子ども」です。</p>

夢の実現は、容易なものではありません。子どもが成熟していくには、葛藤がなければなりません。そこには、成功体験とともに失敗体験が必要です。失敗体験なくして本当の成成感を得られません。

各学校では、多種多様な子どもの活動の場を用意し、様々な体験をさせてもらいたいと願っています。学校という集団生活の中で、すべての児童生徒がしっかりと夢を語り合い、夢の実現を目指して切磋琢磨し合う学校を目指してほしいと思います。

義務教育を考えると、中学校での卒業生の姿のありようが問われることとなります。そこで、小学校では、素直さを残して卒業させることが重要です。友人や保護者、先生の話の聞ける子どもになること、そして、中学校では、学問の面白さを体得させることが重要と考えます。

そのために、学校づくりに期待することとして、資料にもあるとおり、10項目を提示し、各学校にお願いし、教育委員会としてもいろいろな施策を行っております。

当市の学校教育で、特に、すばらしいと思うところは、校長をはじめとする先生方の努力のおかげで、授業中の児童生徒が落ち着いていることです。

昨年実施された全国学力・学習状況調査での学校質問紙調査の中の、授業中の落ち着きを問う質問においては、小中学校とも全国平均を大きく上回る数値が出ています。これが、江別市の学力を支えていると思うので、この子どもたちの落ち着きを継続させたいと考えています。

学力向上はもちろんのこと、体力・運動能力向上、文化活動、安心・安全等の取り組みで、学校外の多くの方々のご支援をいただいています。さらに、平成29年度からは、全小中学校においてコミュニティ・スクール化を図り、より一層、地域と一体的になった教育の取り組みを実現し、郷土愛を育てていきたいと思っています。

次に、社会教育や生涯スポーツの推進にあたっては、第8期江別市社会教育総合計画や第5期江別市スポーツ推進計画に基づいて、施策を展開し実践いたします。

まず、少子高齢化や核家族化が進行し、親子の関わりや地域のつながりの希薄化に伴い、地域や家庭の教育力の向上が大きな課題となっています。

そのため、情報図書館や公民館を利用して、親子が共に学ぶ機会の充実が必要であり、アウトメディアを含めて家庭教育支援を進めます。

また、高齢化で多くの高齢者が生きがいや社会との接点を求めています。さらに、文化・芸術活動支援や文化遺産の保存と活用も大きな課題です。文化施設の活用を含め、確実な手立てをとって活発化を進めます。

さらに、心身の健康のためには、体を動かすこと、スポーツに勤しむことが大切です。江別市スポーツ推進計画では、「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツを」というキャッチフレーズで、スポーツ活動を推進しています。

江別市のスポーツは、生涯各期において非常に盛んであると言えます。江別市体育協会を中心とする各競技団体がしっかりと活動してくれており、体育施設の活用など、教育委員会としても役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。

東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機にシティープロモートの一環として、スポーツ合宿の誘致に取り組み、合宿参加選手との交流や指導を通して、江別市のスポーツ推進を図ります。

文化面でも体育面でも大きな課題は、指導者の高齢化です。この難題をそれぞれの当事者とともに解決していくことが求められます。

えべつ未来づくりビジョンでは、子育て・教育政策において、「未来のえべつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成」を、生涯学習・文化政策において、「心の豊かさを実感できる成熟した生涯学習のまち・えべつの実現」を基本目標に掲げています。

私は、日本・北海道・江別市を担う子どもたちが、夢を語り、その実現に向かって切磋琢磨し、心豊かにたくましく成長できることを願うとともに、さらに、市民一人一人が生き生きと豊かな人生を送ることができるよう、江別市の教育行政の責任者として、全身全霊を掛けて、与えられた使命を果たしてまいりたいと存じます。

以上でございます。

三好市長

ありがとうございました。

新教育長からの抱負を幅広く語られましたけれども、委員の皆様から新教育長に対しま

<p>支部委員</p>	<p>して要望などがございましたら、ご発言をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>江別市の新教育委員会制度がスタートいたしました。初代教育長として月田教育長が就任されましたことを心よりお喜び申し上げます。</p> <p>江別市の教育は、石狩管内を見ても北海道全体におきましても、先の「平成27年度全国学力・学習状況調査」並びに「平成27年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査」で、全ての教科、種目等で全国平均と同等、あるいは全国平均を上回る結果を出しており、関係者の日頃からの努力に対しまして、敬意と感謝をしたいと思っておりますし、今年度以降も維持発展させていきたいと願っております。</p> <p>この結果を踏まえて、文教都市江別をさらに前進させるためには、学校・地域・教育機関との協働での学校作りが大切であると考えております。</p> <p>私は、児童生徒の学校教育は、「朝、家を出た瞬間から始まっている」と考えております。一つには、子どもたちの実態の把握、二つ目は、保護者や地域の実態の調査、三つ目は、学校や教職員の实態等の研究、を今まで以上によく把握、調査、研究いただき、文教都市江別として、さらには文武両道のまち江別を目指してほしいと思っております。</p> <p>以上、私からの意見といたします</p>
<p>三好市長</p>	<p>ありがとうございます。では、その他いかがでしょうか。</p>
<p>郷委員</p>	<p>職務代理者の支部委員からもお話があったとおり、今年度江別市も移行ということで、新教育委員会制度になりました。月田教育長におかれましては、新教育長という今までの教育委員長と教育長が一本化となり、より一層スピード感のある教育委員会になっていただければ良いかと思うところと、より一層責任のある立場となりますが、教育行政に関わることで、そしてより良い教育環境の推進にあたり、私としては近年、社会情勢や生活環境の多様化などを尊重しながら、様々な場面に柔軟に適切に対応していくことが大切になっていくかと思っております。</p> <p>ここ数年、学校の統合や耐震性なども踏まえて、いろいろな面でたくさんの予算をかけていただき、学校も新しくなりました。</p> <p>また、電子黒板なども取り入れることになり、これからは、よく言うソフトとハード両方の面でバランスよく教育を進めて行けたら良いかと思っております。</p> <p>えべつ未来づくりビジョンには「未来のえべつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成」という基本目標があります。そして、生涯学習、スポーツの面なども重点を置いて、江別市民がより良い生活をできるように、これらの目標を着実に取り組んで推進できるように願っております。</p> <p>以上です。</p>
<p>三好市長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>制度が変わりましたが、私たちの思っている気持ちは全く変わっていないのかなという気持ちでおります。月田教育長がおっしゃられましたように、教育・文化・スポーツということで、9年間の義務教育だけでなく、長い将来を見据えた上でのバランスの良い教育という大きなものをみんなで考えていけたら良いと思っております。微力ですが、これからもみんなでやっていけたら良いと思っております。よろしく申し上げます。</p>
<p>林委員</p>	<p>初めて参加させていただきましたが、教育長の方からお示しいただいた目指す江別市の教育、大変すばらしいものだと思います。特に、子どもたちが夢を持って、それに向かって現実に努力する、といったことが最近なかなか行われづらくなってきているなど感じています。昨日、右代選手の壮行会がありましたが、あのようなすばらしい人材が江別に誕生した際に、子どもたちと触れ合う機会を設けてもらうとか、夢は夢に思うだけではなく、本当に叶うことが可能だということ子どもたちにどんどん示していただきたいと思います。また、先ほどお示しいただいた目標をどんどん実践して行けるように、当然、我々もそれに向かって努力をさせていただきたいと思っております。</p> <p>それと、このような理念の他に、現実的に日々学校で起こる、例えば、いじめの問題だ</p>

<p>三好市長</p>	<p>とか、いろいろな難しい問題も発生しますので、教育委員会としてリーダーシップを持って、そういった事態にも対応していただければと思っております。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私からも一言お願いしたいと思います。新しい総合計画が26年にできまして、その中の5年間、ちょうど3年目になりますけれども、私どものまちづくりの大きな柱に、子育て・教育を掲げております。もちろんその他にも、健康ですとか、福祉ですとか、そういったものもありますけれども、教育との関連は、まちづくりに極めて重要な位置付けにあるということでもあります。冒頭でもお話ししたとおりでございます。</p> <p>人口減少問題が大きく話題になっておりますけれども、江別の特色を分析しますと、人口が全体で減りながらも0歳から14歳の子どもたちが増えているという魅力がありますので、これを研ぎ澄まして、もっと魅力を高めていくということでもあります。どうしても教育の充実が必要だと思っておりますので、まちづくり全体を見据えるということも、教育の観点から全体を見てもらうという目線で教育行政もぜひ進めていただきたいと思っております。そのためには、意見交換をしながら、共通認識の下に進めてまいりたいと思っておりますので、引き続き8年間の実績を踏まえての話ですので、よろしく願いいたします。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>わかりました。</p>
<p>三好市長</p>	<p>ありがとうございました。今もお話しさせていただきましたが、平成20年から教育長を務めておりますので、新教育委員会制度に移行しても、役割が変わらないと思っております。教育委員長が担ってきた役割も兼ね備えるということでございますので、より一層教育行政を推進いただきますよう、お願い申し上げたいと思います。</p> <p>それでは、(2)平成28年度教育施策及び予算の展開方針について、を議題といたしたいと思います。</p> <p>事務局から説明願います。</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>それでは、議題(2)平成28年度教育施策及び予算の展開方針について、ご説明させていただきます。</p> <p>なお、本日お手元に、昨日出来上がったばかりですが、平成28年度江別市の教育という冊子を机上に配布させていただいております。併せてご覧いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>資料1をご覧いただきたいと思っております。4ページものになっておりますが、こちらは、3月の市議会で説明いたしました市政執行方針並びに各会計予算説明で謳われております関係部分の抜粋という形になりまして、その下に該当する教育におけます事務事業を記入したものでございます。</p> <p>重点事項として、今年度、新規あるいは拡大した事業についてご説明させていただきます。</p> <p>1点目でございますが、1ページ目の子育て・教育の分野の中から情報教育推進事業の新規事業といたしまして、江別第一小学校の新校舎建設にあわせ、ICT教育のモデル校としてタブレットパソコンを整備するほか、電子黒板で提示できるデジタル教科書を全小中学校に配備することとしました。</p> <p>2点目でございます。いじめ・不登校対策事業ということになりますが、こちらは2ページ目の(3)、こちらでは、特に不登校児童生徒への支援施策のひとつでございますサポートケア事業の充実を図るため、開催日数を週2日から週3日に拡大しているという状況になってございます。</p> <p>3点目は、江別小学校・江別第三小学校統合校建設事業で、平成28年3月に閉校いたしました江別小学校校舎の解体工事を夏以降に実施する予定になってございます。</p> <p>続きまして、3ページでございますが、生涯学習・文化の分野でございますけれども、4点目といたしまして、資料の中段、えべつ市民カレッジ(四大学等連携生涯学習講座)</p>

	<p>事業でございまして、開催スケジュールを広く周知するため、広報えべつに折り込みを入れるなど周知方法の工夫や内容の充実を図っております。</p> <p>5点目といたしましては、4ページをお開きください。中段、スポーツ合宿誘致事業といたしまして、トップアスリートとの交流などを通じた市内のスポーツ振興を図るため、道外からの合宿団体に対して送迎バスの提供や道立野幌総合運動公園使用料の補助などの支援を行いまして、合宿誘致を進めているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
三好市長	<p>ありがとうございました。平成28年度の教育予算重点事項についての説明をいただきましたけれども、限られた時間でありますので、この中から今回はICT教育について意見交換したいと思っておりますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。(了)</p> <p>そのようにさせていただきます。それでは、委員の皆さまからICTに関連したご意見がありましたら、いただきたいと思っております。</p>
支部委員	<p>ICTについて、江別は非常に先進的な取り組みがされていると私は感じております。また、10月以降にタブレットパソコンの導入ということが決まっておりますので、このタブレットパソコンの使い方でありますとか、運用の仕方、あるいはパソコンというのは道具なものですから、その使い方によって、生きたり死んだりすると思っております。その方法について、どのように進めていくのかということと、また、パソコンに入れますデジタル教科書について、具体的にどのような活用を行っていくのか、ということが、まだ見えていないというか、10月を目前にしていろいろ検討されているところですが、経過等についてお聞きしたいと思っております。</p>
三好市長	<p>タイムスケジュールみたいなものはあるのでしょうか。説明をお願いします。</p>
渡部教育部長	<p>基本的に、教育用のパソコンについては、各校40台7年間運用しておりますので、教育委員会の考え方としましては、平成31年度までにタブレット型パソコンへ切り替えるという計画で準備を進めているところであります。</p> <p>電子黒板につきましては、すでに平成25年から26年にかけて全学級に配置しておりますので、その活用に向けてデジタル教科書の整備ということで、平成28年度、今年度から、第一小学校につきましては、国語と算数を全学年にデジタル教科書を確保し、その他の学校につきましては、算数と数学を2学年分予算措置しまして、それぞれ学校に応じて、購入する学年や教科について検討していただきながら、進めて行く考えであります。ICTの購入計画について、教育委員会の素案としては、そのような形で考えております。</p> <p>以上です。</p>
支部委員	<p>今、物の部分の動きというイメージであったかと思っておりますが、具体的に先生方はパソコンを含めてどのように使うかという学習会などが行われていると聞いています。数か月後には導入されますので、ノートパソコンとタブレット型の違いによる教職員の教え方について、このようなことを注意して行っているというようなことが、もしあればお聞きしたい。パソコンは道具なものですから、運用の仕方によって生きたり死んだりするので、非常に周囲が気にしているところであります。</p>
三好市長	<p>研修会みたいなものは開催するのですか。</p>
渡部教育部長	<p>それぞれ導入する学校については、研修会みたいな形で教職員に周知を図っていきましますし、市の教育委員会としましては、電子黒板と同様にその活用方法については、これから江別市教育研究所を中心に、活用についての研修会はこれから計画を立てて周知していきたいと考えております。</p>
三好市長	<p>よろしいでしょうか。(了) その他の方でいらっしゃいませんか。</p>
林委員	<p>初めに、私は第一小学校に子どもを通わせている立場として、今、整備をしていただい</p>

	<p>ていますことをお礼申し上げます。ありがとうございます。日々、学校が出来上がっていく姿を本当に楽しく見えています。</p> <p>今日の資料にも第一小学校がというようなことがありますが、このICT教育、すでに第一小学校には、タブレットが先行で10台程度配置されて、一部活用しながら進んでいるようです。デジタル教科書を電子黒板とセットで使うと、例えば、漢字の書き順などがデジタルで表示されて、子どもたちには非常に受けが良いと言いますか、注目してもらえるなど、いろいろな効果が出ているようです。その中で、支部委員も言われておりましたが、そこにさらにタブレットも入ってくるものですから、デジタル教科書とタブレットのうまい融合の仕方というのが、まだ試行錯誤を繰り返しているような状況のようです。教育研究所での研修なども考えられているということでしたが、物が先行しても、なかなかうまく活用しないと効率的な授業ができないと思いますので、せっかく入る物をどう活用するかというところを今後進めていってもらいたいというのが一つです。</p> <p>それと第一小学校がICT教育のモデル校として選定されるということですが、モデル校として物がいろいろ入って予算を使っていたのは非常にありがたいことですが、モデル校として積み上げたものを他の学校に生かすという使命を得ていると思います。今後、先生たちの負担も増える中で、どうやって他校に事例を勧めていくのか、例えば、公開授業を先生方向けに行うなど、そういったことも同時に行っていただきたいと思いません。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>いずれにしても、電子黒板の時にも、当初は3分の1程度の予定で導入しました。反響が大きいくどんどん入れてほしいという要望があったこと、もう一つは当時の金額が非常に高かったが、導入時期になりましたらかなり安くなりまして、3分の1くらいの予算で半分を導入することができました。年々、どんどん進化していくと思います。</p> <p>もう一つは、先生方の受け止め方、これはかなり研修していただかなければなりませんので、それと機械とのマッチング、その組み合わせをうまく行っていかなければならないと思っております。それは教育委員会の方で北広島市に研修センターもありますし、いろいろなところで学校の先生、教える側の質をまず高めなければならないと思いますので、そういうところも含めてお願いします。以前の電子黒板の時も大きな課題でした。</p> <p>その他、いらっしゃいますか。</p>
郷委員	<p>委員の皆さんからもいろいろお話があったとおり、使用するにあたり先生の質の向上が求められるのではないかと言うのは皆さん共通した意見かと思えます。</p> <p>私も職業柄、幼児と接する機会が多いのですが、タブレットに対する感覚が、現在の子どもの方の方が先生たちよりも進んでいるという印象があり、幼児期から家庭にタブレットがある、スマホがある、ということで、タッチペンやタッチパネルの操作なども上手に使いこなせている状況かと感じております。</p> <p>また、今、いろいろな幼児向けの教材などもたくさんありますので、タブレットでアプリなどをダウンロードして取り組んでいるご家庭も多いかと思えます。先生の研修会も教育研究所で新しく江別市に来られた先生は特に講習を受けているというお話も聞いています。タブレットの良いところというのは、例えば理科でお花を撮って、いろいろ見て見たり、社会科であればグループ活動の論議をするのに使ってみたり、他には、電子黒板の時ですが、市内の学校訪問の時に体育の授業で使用してしまして、なわとびを飛んでいるフォームを電子黒板に映して、自分がどのように飛んでいて、上手に飛んでいるか、飛べていないか、そんな工夫などをしている授業を拝見しました。低学年は音が出たり、色が鮮やかだったり、漢字の書き順などがわかったりすると、楽しんで学習意欲が湧き、学習意欲のきっかけになる部分があるのではないかとということと、希望的には中学校に入ると部活動などもあるので、そういった時に、フォームが気になる部活動にも活用してICTを使っていけるよう、教員の皆さん、そして教育委員会の皆さんにもサポートしていただけるようなシステムで取り組んでいけたらいいかと考えております。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>ありがとうございます。他にありますか。</p>



橋本委員	<p>皆さんがおっしゃられたとおりですが、第一小学校の先生方にはかなり気負いがあると思いますので、負担にならないようにしていただければということと、時代の流れとともに、郷委員もおっしゃられたように、ますます子どもたちは機械に触れている日常になってきています。それはもちろん必要なことで、こういったことで予算も付けていただいて整備していくことは、江別は進んでいくという点で、もちろん学力も期待するところですが、それ以外の体験していくことだとか、感動していくことだとかを、こちらに集中して、こちらの仕事に一生懸命になりすぎておろそかにならないような形でバランス良く進めていけたら良いなと思っております。</p>
三好市長	<p>ありがとうございました。その他、どうでしょうか。</p>
月田教育長	<p>第一小学校にタブレットを導入して先進的に取り組むことが決まっております。一番心配されることは、支部委員からもありましたようにタブレットの使い方をどうするのかとか、先生方がどういう意図でICTの機器を使うのか、ということがしっかりしていないとダメだと思っておりますので、その辺の研究等はこれからしっかりやって行きたいと思っております。</p> <p>また、それをどのように江別市内の先生方、また石狩管内の先生方に広めていくかというようなことですが、実は、平成30年に放送とICTを含めました研究会を江別第一小学校、江別第一中学校、上江別幼稚園を使って大々的に実施することを考えているところです。その時には、いろいろな先生方に見に来ていただきまして、使い方から授業の仕方からすべてを公開しながら広めていきたいと思っております。</p> <p>一番心配されるのは、各学校で私もそうですが、子どもたちが新しい機材を使っていく時の使うための時間が多すぎると教科にいろいろと支障をきたします。そのようなことにならないように、使用時間をきちんと設定してそれ以外は使わない。わからない子どもたちは放課後に使わせて習得するなどしなければならぬかと思っております。そうすると橋本委員が言ったようなこともなく、習得には時間を区切って行わないといけなかと考えております。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>いずれにしましても、タブレットパソコンを使っての学習というのは、全国いろいろなところで導入されていて、先進事例はたくさんあるのではないかと思います。評価されるものもあるでしょうし、評価されないものもたぶんあるのではないかと思いますので、そういうところを十分検討してもらって、第一小学校での運用にさせていただきたいと思えます。そして、運用した結果、子どもたち、先生、保護者に評価していただいて、次はどう進めていくのかということをもた議論していきたいと思えますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本件は以上で終結させていただきます。</p> <p>次に（3）コミュニティ・スクールの導入について、を議題といたします。</p> <p>事務局から説明願います。</p>
渡部教育部長	<p>それでは私の方からコミュニティ・スクールの導入について、ご説明させていただきます。</p> <p>まず、資料2をご覧ください。</p> <p>コミュニティ・スクールの導入経緯といたしましては、平成16年6月に国の法改正があり、学校運営協議会制度、いわゆるコミュニティ・スクール制度が導入されました。</p> <p>その後、平成25年6月に第2期教育振興基本計画を策定し、コミュニティ・スクールを全公立小中学校の1割に拡大、平成27年3月には、教育再生実行会議第六次提言で、未導入地域における取り組みの拡充や学校支援地域本部等との一体的な推進など、これらの項目について提言がありました。</p> <p>また、同年の7月には、財源確保につきまして、教育再生実行会議第八次提言が出されたところであります。</p> <p>こうした動きを受けまして、平成27年12月、中央教育審議会でコミュニティ・スクールの導入は、「任意設置」から「努力義務」にするとの答申がまとめられたところであ</p>

	<p>ります。</p> <p>こうした国の動きを受けまして、2北海道の動きですが、平成25年3月に策定の北海道教育推進計画（改訂版）では、コミュニティ・スクールに指定されている小中学校の割合を平成29年度までに10%とする目標を掲げ、平成27年10月に策定した北海道総合教育大綱では、コミュニティ・スクールの普及を3つの重点的な取り組みの1つに掲げたところでございます。</p> <p>そこで、3江別市の動きでございますが、昨年12月の校長会議におきまして、教育長から平成29年度から全小中学校一斉導入する方針を示し、平成28年6月に検討委員会と専門部会を設置し、導入に向けての検討を始めたところであります。</p> <p>続きまして、資料3をご覧ください。</p> <p>こちらにつきましては、コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民、校長などの委員で組織された「学校運営協議会」を設置している学校のことを指さすということで一覧の表になっております。</p> <p>下の図は、文部科学省がコミュニティ・スクールの成果を図で表したものになっておりまして、コミュニティ・スクールを導入することに伴い、表の右側①関わる人々の意識改革が進み、②連携強化、③課題解決という形で、こちらの循環の結果、学校と地域が元気になるという好循環が期待されるということで、コミュニティ・スクールの概念が形成されているところであります。</p> <p>続きまして資料4をご覧ください。</p> <p>こちらの資料は、左側は江別市の現在の状況、右側は「江別型コミュニティ・スクール（案）」を導入した場合の全体のイメージ図となっております。</p> <p>江別市では、左側下段のところにてこれまでの取り組みということで、平成13年度の学校評議員制度から平成23年度学校支援地域本部事業に至るまで、これまでも地域に開かれた学校を目指し、地域と連携した取り組みを鋭意進めてきたところでございますが、この組織を生かしながら、国が提唱するコミュニティ・スクールに移行したいと考えているところであります。</p> <p>対比の表では左側の図にありますように各学校で設置しております①学校評議員②学校関係者評価委員の機能を右側の図の学校運営委員会へ集約することとして考えているところであります。</p> <p>これまでと変わる部分としては、学校運営の責任者である校長が作成する学校運営の基本方針に対して、これまでは学校評議員制度から「意見を述べるができる」という制度でございました。左側の図、矢印が下に向かって「意見」と書かれておりますが、学校評議員から校長に対して意見を述べられるという制度から右側の図になりますとこれからは、学校長が立てる基本方針に対して、学校運営協議会が承認をするという立場になるということで変更となる部分が一番大きいところでございます。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
三好市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、コミュニティ・スクールについての説明がございましたが、教育委員の方からご質問、ご意見等ございませんでしょうか。</p>
支部委員	<p>私は、コミュニティ・スクールというのは、従来から江別市内の学校運営について行われていたことが移っていくというイメージを一つ持っております。例えば、北翔大学の先生が学校に来て教えていただく、それは学校の方からも運動能力というか、走り方とか体操の仕方を習いたいという要請があって先生が派遣される、好評なので大学の学生も一緒に来て教える、さらに好評なので中学校の体育の先生がさらに補助として入るといったような動きが、まさしくこれを当てはめると、ここで言う、校長先生が説明をして学校運営委員会が承認をして進んでいくというイメージと考えたところですが、いかがでしょうか。私の理解がずれている部分がありましたら補足をお願いしたいと思います。</p>
萬教育部次長	<p>教育部長からも説明申し上げましたとおり、これまでやっていた内容を学校運営協議会という制度に包括するというところであります。法的な位置付けとしては、これまで意見を述べるということに留まっていた学校評議員の位置付けが、法律に基づいて校長が作成し</p>

	<p>た基本的な方針を学校運営協議会が承認をするということに変わるということでありまして、これまでやってきたことを全く変えるということではございません。新しい学校運営協議会、江別市ではそれを学校運営委員会という名前で設けようという考えですけれども、そちらの形に滑らかに移行していこうというのが江別型コミュニティ・スクールの案でございます。現在、具体的に学校教育現場にどのような形で取り入れていくかということについて、検討委員会を設けて検討している最中でございます。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>今までの流れと大きく変わるものではありませんが、組織を一本化してより審議がスムーズにいくということではないかと思えます。</p> <p>今回のコミュニティ・スクールにつきまして、何かご意見ありませんか。</p>
郷委員	<p>皆さんがお話しているとおおり、今現在、各学校でPTA活動の他に地域の方がボランティアをいただいている学習面に関すること、地域の交通安全や見守り隊など、また市の教育委員会では市内の企業にキャリア教育ということでお願いをして、中学生のキャリア教育を行っている状況でもあります。</p> <p>今、お話を聞いて、私も少し位置付けがどうなのかと思っていた学校評議員や学校関係者評価委員を一体化し、学校運営委員会になるということで、今までも学校関係者評価委員の皆さんからは、年に数回懇談が各学校で持たれていて、たくさんの意見を言っただいて、学校運営の評価も高いと認識しております。</p> <p>コミュニティ・スクールがこういった形になるのかというのは、これからの検討委員会で決まっていくことだとは思いますが、江別市も国や北海道の動きを下に、制度を導入していくということで私としては委員の構成とかコーディネーターに関わることなどが少しスムーズにいかないこともあるのではないかと少し不安になっているところもあります。なり手の不足、少し責任のある立場になるということ、教職員やコーディネーターになっていただく方の負担感など、そういったところも教育委員会の職員の皆さんがサポートする形を設けたら良いかと思えます。最初から学校側や検討委員会だけに留まらず、導入した後に進めて行く上で、課題も出てくると思えます。そういった時に、サポート的な相談できる場所があると進めていく上で、不安感が少なくなっていくかと感じています。</p> <p>コミュニティ・スクールは、地域の活性化や子育ての輪が広がるまちづくりで、全国的に協働という言葉が広く使われていると思えますが、江別市も10万前後の人口として協働のまち、先ほど市長がおっしゃったまちづくりに関しての一つではないかと、より良い方向にコミュニティ・スクールが出来上がっていくことを私は希望しているところです。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>その他ありませんか。</p>
橋本委員	<p>今まであった学校評議員と学校関係者評価委員の違いもなかなか浸透しづらく、実際にやっていく上で、そこを区切る境がよくわからない部分もありましたが、よりオープンになり、よりたくさんの人たちが一同に会して一つのことを考えていくというようなことができるようになるのではないかとということで、すごく期待しています。</p> <p>校長先生から説明を受けていたのは、今までもそうだと思いますけれども、そこで承認ということが発生してくるので、ひと手間かかる心配がありますが、人数的なものももう少し幅を広げ、いろいろな方々に携わってもらおうと、評議員で年に2回この会議に出席するだけでなく、毎日見守りに立ってくださっている方やスポーツ少年団の方など、実際に子どもたちと接するような方々がどんどん入ってきて、意見を言っただけというのは、学校としてもありがたいことではないかと思えますので、移行する時は大変ですが、今後の運営に期待をしています。</p>
三好市長	<p>ありがとうございます。</p>
林委員	<p>今、橋本委員が言われたとおおり、私もこの学校評議員制度に対して、少し疑問を持っていた部分がありましたので、これが統合されて本当の意味での学校評価をするというよう</p>

	<p>な仕組みが作れるのではないかと非常に期待しております。</p> <p>今までは、どうしても先生方が作った評価にABCを付けるぐらいでしたので、保護者はまだ学校の様子がわかりますが、地域の委員は行事ぐらいしか学校に行かないのでよくわかりません。図書ボランティアや読み聞かせを行っている人、毎朝、交通委員で子どもたちを見ている方が入ることによって、学校の様子がわかっている人が適切な評価をしてくれると非常に期待しています。</p> <p>それともう一つ、評価の部分はそれで期待するところですが、学校を支援するボランティアの活動がどのように好循環を生んでいくかというのが、コーディネーターの存在が重要になるのではないかという感じを受けています。今後、具体的にどうしたらそれが良くなるかというのは、知恵を絞らないといけないところだと思いますけれども、せっかく作った学校運営委員会が今度学校を支援するボランティアに依頼したり、自らが支援していくというようなことを活性化させる取り組みと言いますか、地域とともに学校を育てる取り組みをいかに進めていくかということが課題なのだろうと思います。</p>
三好市長	<p>ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。(了)</p> <p>私も意見を言わせていただきますと、最終的には学校地域支援本部から学校に対して、運営委員会に対して、どう意見を言って、どう支援をしていくかといったことが、最後の肝になると思います。</p> <p>学校と学校運営委員会の中での意見のやり取りをしたところで、最終的には、これが地域の支援本部に伝わって、その方たちと学校とが連携できるかどうか、最終的なものですから、そこに行くことが最後の肝だと思います。</p> <p>もう一つは、学校間の連携というか、学校間の情報交換というと、教育委員会の役割がかなり大きくなっていくのかと思います。たぶん学校ごとにすばらしく良い形の評価されるようなものもあるのではないかと思います。それをうまく取り上げて、他のところに伝えると、またはやり方で非常にうまくいっているところがあれば、うまくいっているやり方が、なかなかうまくいっていないやり方の学校にお知らせするといった情報交換の仕組みを作っていかなければならないと思っていますので、その辺も少しご配慮いただければと思います。</p> <p>教育長、よろしいでしょうか。</p>
教育長	<p>わかりました。</p>
三好市長	<p>今回いただいた意見を踏まえて、今後、平成29年度の一斉導入に向けての計画がございますので、教育長を中心に進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>予定されている議題については終了しましたが、その他でございますが、本日、協議した以外のことで、何かご意見、ご質問等ございませんか。</p>
林委員	<p>先ほど出ていたことで確認も含めてですが、教育長から平成30年にICTの関係の発表する場があるというお話をされていましたが、確か平成30年に石P連の教育研究大会が江別市で開かれるはずですが、それとは別の会議でしょうか。</p>
月田教育長	<p>別の会議です。</p>
林委員	<p>別であれば、たまたま平成30年に石P連の教育研究大会も江別市で開催されるものですから、そこでもそういったものを議題の一つにあげてもらうだとかがあると、より連携を深められるかと感じたものですから。</p>
三好市長	<p>その他は、ございますか。(なし)</p> <p>事務局から何かありませんか。(なし)</p> <p>それでは、次回の日程についてお話しさせていただきます。緊急に協議を要する場合は改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。次の会議は10月頃を予定しておりますので、事務局を通じてご連絡させていただきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。</p>

	<p>以上をもちまして、本日の江別市総合教育会議を閉会いたします。 熱心なご議論をいただきまして、心から感謝申し上げます。</p>
--	---